

3

March 2013

第 707 号
平成 25 年 3 月 1 日発行
(毎月 1 日発行)

[広報]

Public Relations SAMEGAWA

「特集」 鮫川村バイオマスヴィレッジ構想 子どもたちへの贈り物 豊かな資源を 生かした美しい村

鮫川村
Public Relations SAMEGAWA

③ March 2013

平成 25 年 3 月 1 日発行 (毎月 1 日発行)
第 707 号 (昭和 27 年 9 月創刊)発行/鮫川村 編集/鮫川村役場企画課
〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新道 39 番地 5

金婚を迎えたご夫婦を紹介



半世紀の歩み Episode_02

水野 正さん キクさん

西山字追木在住/昭和 37 年 3 月結婚

お互い、同じ農業高校に通って
いました。そこで、恩師が鮫
川同土ということもあって紹介して
くれたことがきっかけです。

50年の結婚生活は、長いようで
あっという間でした。代々、続けて
きた葉たばこ作りや子育てなど、夢
中でやっていたら気が付けば50年
経っていましたね。

1つの目標に向かって2人で協力
してこられたことがよかったです。
これまでを振り返ってみても苦労だ
と思ったことはありません。

お互い農業が好きなので、これか
ら無理せず続けていきたいです。
孫たちも作る野菜を楽しみにしてく
れているので、ゆっくりのんびり農
業をしていきたいです。 [談]

こちら 村長室

▼桜は夏に翌春
咲く花芽を形成
する。秋に休眠
に入った花芽は、
冬の寒さに休眠
から覚め、春の気温の上昇と
ともに成長し開花する。冬の厳し
い寒さに耐えることができたか
ら春に美しい花を咲かせること
ができる。植物の自然界での営
みである。▼今、私たちも冬の
寒さに、そして東日本大震災、
原発事故がもたらした放射能の
汚染に耐え、苦難を乗り越えよ
うとしています。村では、二年
計画で村内全域の一時間当たり
の空間線量率を〇・二三マイク
ロシーベルト未満にする除染実
施計画を進めています。環境省
の設置する仮設焼却炉で、落ち
葉や堆肥などの農林業系廃棄物、
住宅敷地内除染物などを安全に
処理し、減容化を図りながら村
内の除染作業を進めます。▼村
民皆さんの参加と協力が除染実
施計画を遂行する上で必要不可
欠です。一日も早く放射線の心
配のない村に戻すため、一歩踏
み出すこの施策にご理解をお願
い申し上げます。

大樂勝弘